

士幌町立小中学校の耐震化の状況について

平成20年6月「地震防災対策特別措置法の一部を改正する法律」が成立し、6月18日付けで施行されました。この改正により、公立の小・中学校の校舎などについて、耐震診断を実施すること、および耐震診断を実施した建物ごとに、その結果の公表が義務づけられました。

耐震診断が必要となる建物は、建築基準法が改定となる昭和56年6月以前の耐震基準で建築された建物で、本町では上居辺小学校・北中音更小学校の体育館と中士幌小学校の校舎が対象となります。3校の耐震診断については、平成18年10月から平成19年2月に行い、その結果は、下表中の2次診断Is値となりました。

この結果を受け、平成20年度に上居辺小学校と北中音更小学校体育館、平成21年度には中士幌小学校の校舎の耐震補強工事を実施し、改修後Is値は下表のとおりとなりました。

1 耐震診断の結果

学校名	建物区分	建築年月	構造	階数	2次診断Is値	改修年度	改修後Is値
上居辺小学校	体育館	S55.11	鉄筋	1階	0.55	H20	1.08
北中音更小学校	体育館	S51.11	鉄筋	1階	0.39	H20	1.34
中士幌小学校	校舎	S53.11	鉄筋コンクリート	2階	0.64	H21	0.72

2 用語の説明

Is値（構造耐震指標）

建物の耐震性能を表す指標で、この数値が大きいほど耐震性が高くなります。

Is値の目安

Is値 < 0.3	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3 ≤ Is < 0.6	地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
0.6 ≤ Is値	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

※国土交通省の耐震基準はIs値0.6以上ですが、文部科学省では、地震時の児童生徒の安全性、また災害時の避難場所としての機能性を考慮して補強後のIs値が0.7以上となっています。